

泌尿器科初期臨床研修プログラム

東京西徳洲会病院 初期臨床研修管理委員会

I. 研修プログラムの目標と特徴

東京西徳洲会病院で、2年次選択ローテートとして泌尿器科を研修する。
腎臓病総合医療センターの診療を通じて、腎臓内科分野から泌尿器科分野にいたる広い疾患を経験できるのが特徴である。

II. 研修施設と指導責任者

研修施設 : 医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院

泌尿器科 : 原 秀彦 泌尿器科部長

指導医数 ; 2名

III. 研修期間と週間予定表

研修期間 : 2年次に選択科として、1-2ヶ月ローテートする。

週間予定表 :

東京西徳洲会
病院

研修週間予定表 (泌尿器科)

時刻	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00	カンファ レンス	カンファ レンス	カンファ レンス	カンファ レンス	カンファ レンス	カンファレン ス	Off
9-12:00	午前診	午前診	午前診	午前診	午前診	午前診	Off
12-13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	Off	Off
13-17:00	手術	手術	手術	手術	手術	Off	Off

* 分娩は随時あり、すべての予定に優先する。

泌尿器科初期臨床研修到達目標

方略 (Learning Strategies: LS)

1) 研修の方略

研修医 1 名、指導医 1 名をもって 1 診療単位とし、10～15 名の患者を受け持つ。

2) 経験すべき症候

外来または病棟において、下記の症候を呈する患者において、病歴、身体所見、簡単な検査に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。

腰・背部痛 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)

血尿、頻尿、睾丸痛、腎不全による浮腫・呼吸苦・頻脈等の症状、腎・尿管結石などによる腰背部痛、尿閉による下腹部膨満、進行がんによる全身衰弱、排尿障害 (尿失禁・排尿困難) 等

3) 経験すべき疾病・病態

泌尿器科では、下記の「経験すべき疾病・病態」が全身に及ぼす影響を理解し、経験する。

腎盂腎炎 尿路結石 腎不全

上記の疾病・病態以外にも泌尿器科で研修すべき疾病・病態は多岐にわたり、それらを下記に挙げる。

腎細胞癌 膀胱癌 前立腺癌 精巣癌 男性不妊 副腎疾患

研修行動目標 (SBO) と評価

評価記載 : 優 (完全に目標を達成した)
良 (不完全だが目標を達成した)
可 (目標に近いがまだ達成していない)
非 (目標を全く達成していない)

【その他】

術前症例検討会の参加	優・良・可・非	優・良・可・非
各定例カンファランスの準備と参加	優・良・可・非	優・良・可・非
抄読会の準備と参加	優・良・可・非	優・良・可・非

1年次研修医の指導<2年次研修目標>

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医コメント

指導医サイン
